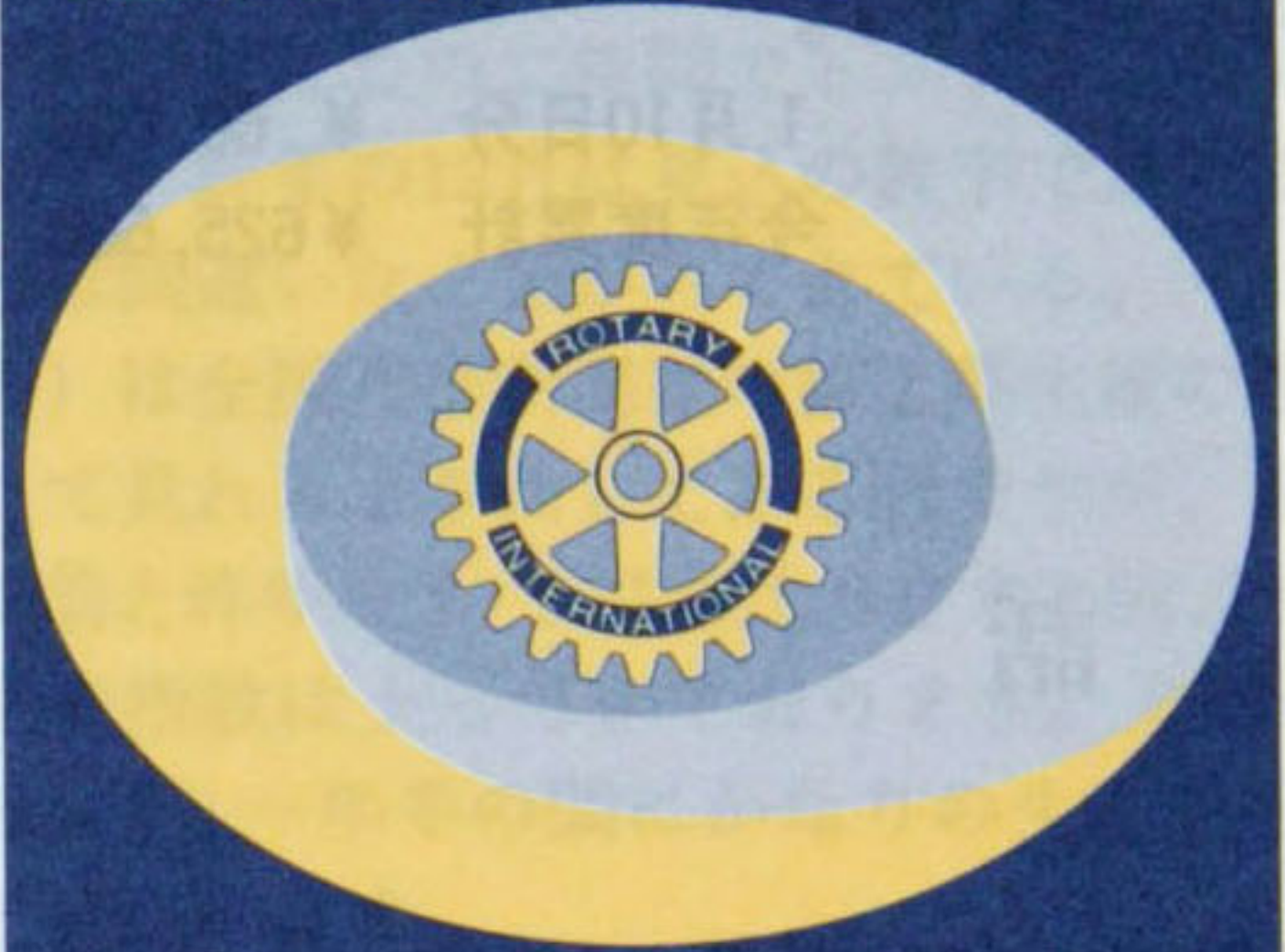


意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——吉田 昭 平
会長——斎藤 弘 文
会長エレクト——五十嵐 昭 一
副会長——松谷 昊 吉
幹事——丸山 行 彦
副幹事——清水 良 一
S A A——荻根沢 隆 雄
副 S A A——中村 和 彦

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	69名中 54名
先々週出席率	84.62%

ヴィジター
三条北より
中條耕二さん

ゲスト
三条信用金庫理事長
杉野良介様

先週のメイクアップ
1/9 三条北へ
渡辺勝利さん



会長挨拶



齋藤弘文会長

私は大変好きな詩の中に「夢」という詩があります。新年になりますと、いろいろなところでこの詩の話をしていますが、披露させて戴きます。

“夢”

夢のある人には希望がある、希望のある人には目標がある、目標のある人には計画がある、計画がある人には行動がある、行動のある人には実績がある、実績のある人には反省がある、反省のある人には進歩がある、進歩がある人には夢がある、という言葉であります。是非新しい毎日、毎日をごくこのような夢を描いて、皆様と一緒に暮らしていきたいと思っております。

ニコニコBOX



中條耕二さん (三条北RC)

新年おめでとうございます。今年は何かとお世話になります。

偶然に杉野理事長様のお話が聞けて幸いです。

齋藤弘文さん

新年明けましておめでとう御座居ます。本年も宜しくお願い致します。

杉野理事長様を歓迎申し上げます。卓話を期待致しております。

丸山行彦さん

謹賀新年、今年も宜しくお願い致します。

佐藤さんの入会を歓迎します。

川又嘉瑞範さん

本日の卓話三条信用金庫理事長、杉野良介様卓話楽しみにしております。

新会員佐藤浩一様の入会大歓迎です。

早川昭雄さん

佐藤浩一さんの入会を歓迎して。

今年(辛巳)は年男良い年である様に。

小出子恵出さん

新世紀の新年を迎え、皆様本年もよろしくお願ひ致します。酔っ払って犬と仲よくし過ぎました。今年には酒に呑まれないように心掛けます。

杉山幸英さん

明けましてお目出とう御座居ます。本年もよろしく御願ひ申し上げます。本日皆様に年賀を出来ると思い、賀状を省略させて頂きました。その分ニコニコBOXに協力させて頂きました。

佐藤浩一さんの入会歓迎致します。

中村和彦さん

今年は正月早々除雪という仕事をさせて頂いた、よい事がありそうです。ロータリーの皆様今年もよろしく御願ひします。

荻根沢隆雄さん

おめでとうございます。本年もお仲間に入れて下さいます様、お願い申し上げます。

渡辺(勝)さん、渋谷(正)さん、佐藤さん、長谷川さん、藤田(紘)さん、吉井さん

あけましておめでとうございます。

杉野理事長の卓話に期待しております。

船越さん、五十嵐(昭)さん、平原さん、小柳さん、松谷さん、細井さん、佐野さん、清水さん、五十嵐(寿)さん、西山さん、古澤さん、樺山さん、齋藤(弘)さん、齋藤(隆)さん、近藤さん、石塚さん、

小宮さん、小林(英)さん、金子さん、松縄さん、渋谷(健)さん、渡辺(宏)さん、佐久間さん、岩井さん、石橋さん、川瀬さん、広岡さん、成澤さん、高森さん、外山(雅)さん、小林(九)さん

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

1月10日分 ￥60,000

今年度累計 ￥625,600

卓話

三条信用金庫理事長 杉野良介様



只今、紹介戴きました杉野でございます。昨年の暮れに渡辺さんと菊池さんがお出になりまして、1月10日の例会に市長が急に都合が悪くなったから、お前が日頃考えていることを喋れと……お断りすれば日頃何んにも考えていないようでありまして、居留守を使えば、どうも比喩では私の行き場が無いようでありますし、止むなくお受けしたような訳であります。

早速でも宜しいのでしょが食後でありますので、先に頭の体操を1分間だけやらせて戴きます。皆様お子様やお孫さんに沢山の新年のお年玉をおあげになったかと思いますが、チョットお考え戴きたいと思ひます。3問正解された方には、特別な粗景を後で用意させて頂きます。

私は一応金融関係の端くれにおりますので、お金に関連した問題です。一万円札の裏、五千円札の裏、千円札の裏この3種の裏の図をお答え出来る方がいらっしゃったら手を挙げて下さい。式千円札は源氏物語です。いらっしゃらなくて、ほっとしましたけれども、日頃これだけ政治が不安ですと、経済も中々に大変ではないかと思っております。

そこで、お手元の紙に目を通して戴きながら、お話を申し上げたいと思ひます。これは手元にあります資料を最小限の2枚に集めて持って参りました。これを詳しく見てもらう必要はありませんが、こんなものかと思ひて見て戴けば充分でございます。まず1枚目の左から番号が付っております。(1)(2)(3)(4)これは昨年一年間を振り返ったデータであります、昨年はゆるや

かな景気回復の年だったといわれておりますが、それを表しております図であります。

(1)の鉱工業生産の出荷・在庫の表であります、これは年次は一番下段にあります。特に実線の生産のところ、これは生産の指数を表しておりますが、要はこの二年間でドンドン上ってきております。昨年の12月は見込の数字であります、生産は間違いなく上がってきている。

(2)は全国及び新潟県の鉱工業生産の推移を比較して見れるようにしてある訳ですが、新潟県も一年前と昨年の7・9月を比べますと92.2から97.2と生産指数は上ってきております。全国も101.8から106と一年半の間かなりの生産が上っていると分かります。

それから(3)の企業の業況判断DIですが、DIといひますのは、良かったですか?、悪かったですか?、という気分の問題、感じであります。企業の経営者がどんな感じをお持ちだったかということなんです、これも新潟県は11年の12月に△46であったのが、12年の12月には△20まで。△は減った方が良い訳ですから、かなりの改善であります。

全国はもっと良くて、△26から△14と気分的にも改善の方向にあるという数字です。これを受けまして、(4)の経常利益・設備投資の動向。これは日銀から戴きましたが、これをご覧になりますと、左の半分は経常利益。右は設備投資であります。これをご覧になりますと、新潟県は10年は△21、11年は+23.8、12年は計画でございますが、+15.8と二年連続2ケタの増益になっております。

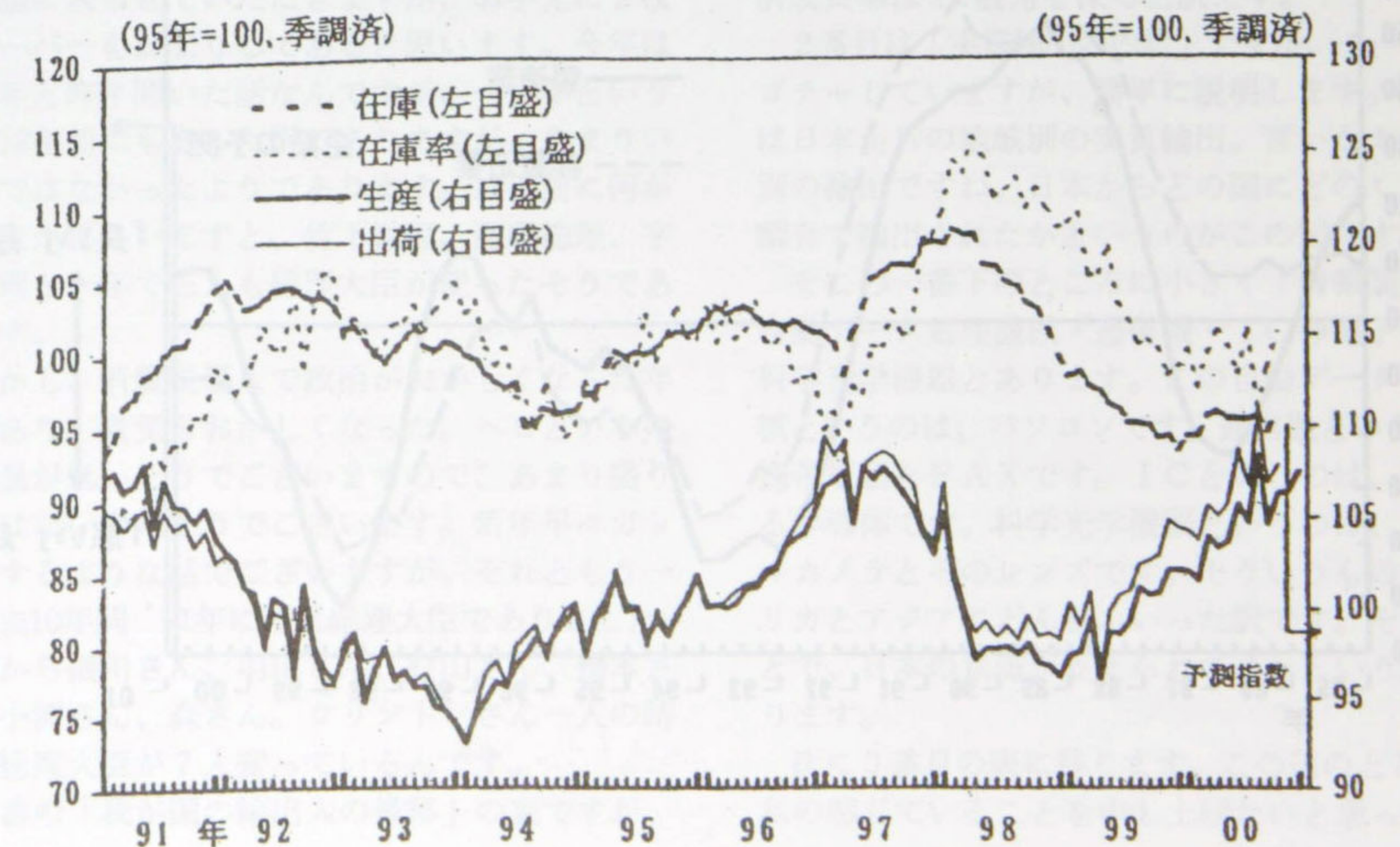
全国は、若干新潟県より良くて、二年続けて2ケタの増益という形であります。11年度の実績、12年度は計画ですが、それを受けまして右の方の設備投資は11年度までは新潟県は2ケタのマイナス。全国は大変早く立直って来ていますので、11年度は9.2と、それが12年度に入りますと、新潟県は大きく34.3のプラス。特に製造業は97%の倍増です。全国もプラスと、……それと2つめは、物価が上がらません。

物価が上がらないということは、デフレ的な感じがしますが、物価が上がらない、消費が力強くない、景気が良くなる時は必ず物価が上がりますから、やはり景気が良くない時は物が売れない。

3つ目は金融です。私共では貸出しが全く伸びません。もう資金の運用に困っております。かと言って株や債権は仲々おっかなくて運用出来ません。冒頭に申し上げましたが、生産は上っているけれども、物は売れない。売り上げが増えないということは、単価が下がっているということですね。デフレ現象ですから作っている人は景況の回復感というのは無い訳です。

私共金融機関も景気が回復したとは思っておりません。私共の現実も貸出しが出ない訳ですから。トータルの数字は良いですが、二極分化があったり、製品の価格は上がらない。金融は仲々動かなかつたりと、この3つから実感としては景気回復なんていうのは出てこないというのが、皆様方の実感ではないでしょうか。

1. 鉱工業生産・出荷・在庫



2. 全国および新潟県の鉱工業生産指数推移

()内は季調済前期比増減(Δ)率：%、1995年基準

	11/10-12	12/1-3	4-6	7-9月
新潟県	92.2(Δ0.1)	93.5(1.4)	95.5(2.1)	97.2(1.8)
全国	101.8(1.4)	102.6(0.8)	104.3(1.7)	106.0(1.6)

3. 企業の業況判断D. Iの推移(日銀短観)

(%)

	11/12	12/3	6	9	12月	13/3予
新潟県	Δ46	Δ42	Δ29	Δ24	Δ20	Δ22
全国	Δ26	Δ23	Δ18	Δ15	Δ14	Δ15

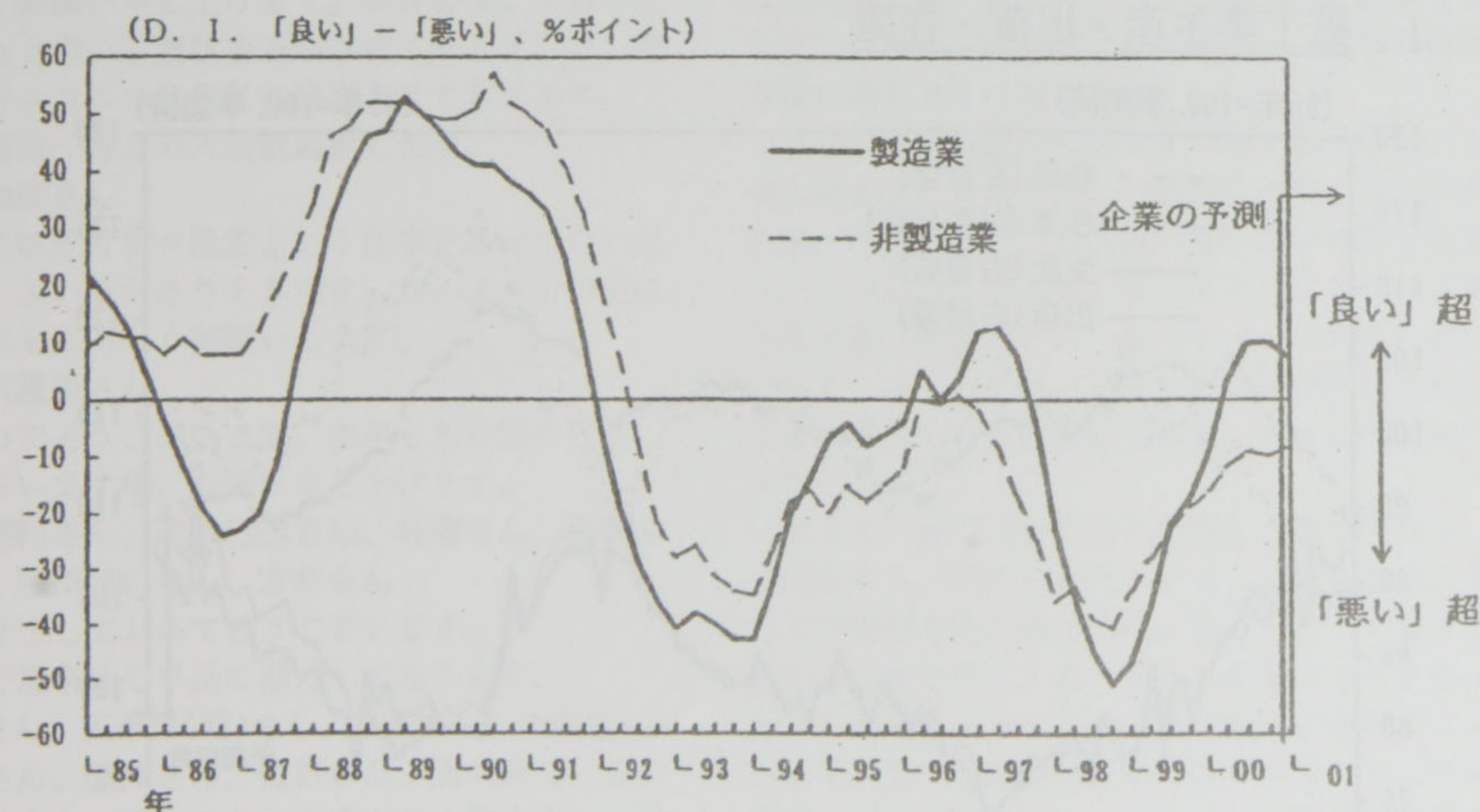
4. 企業の経常利益、設備投資の動向(日銀短観)

前年同期比増減(Δ)率：%

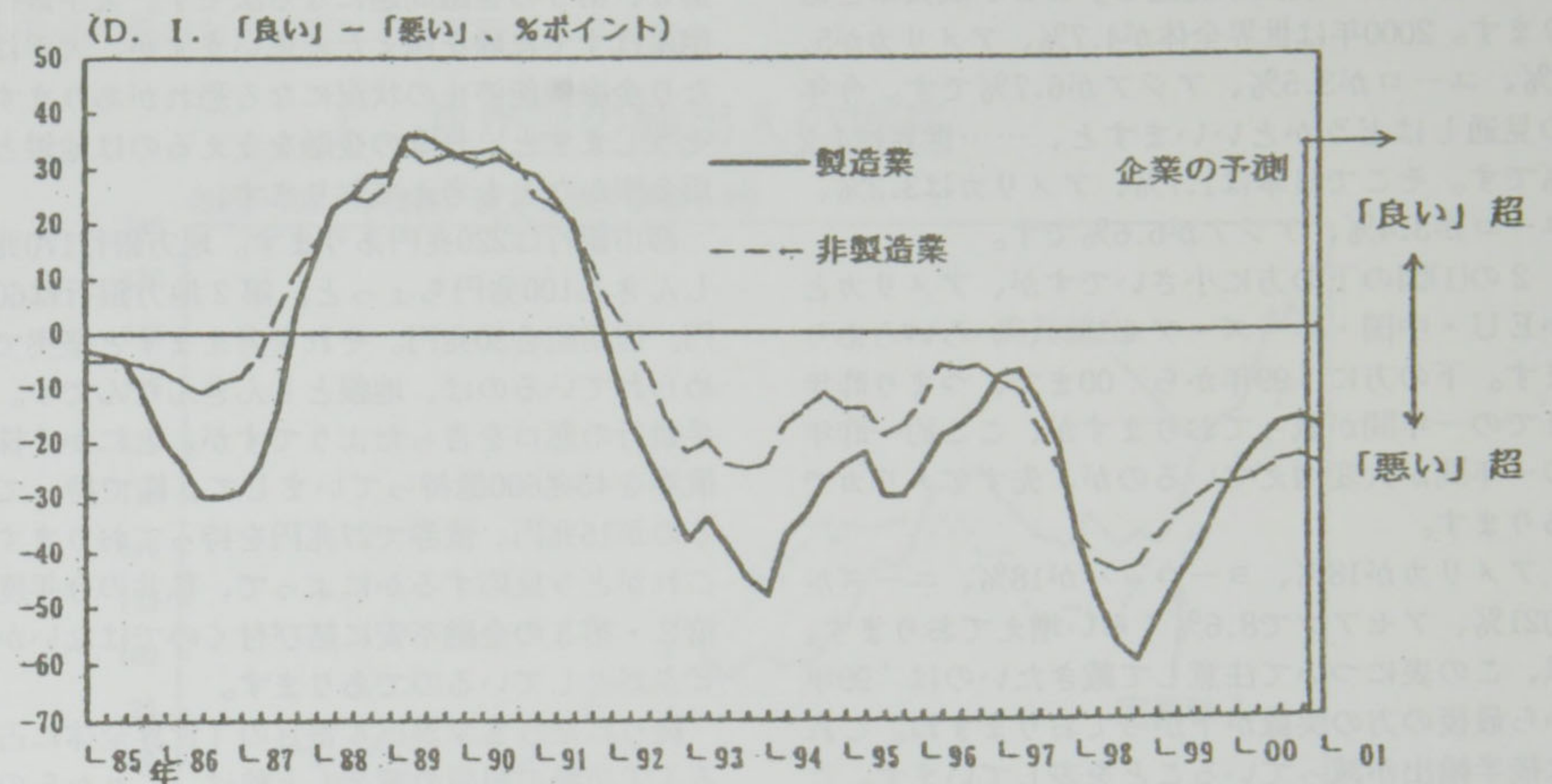
	経常利益					設備投資		
	10年度実績	11年度実績	12年度計画	12年度		10年度実績	11年度実績	12年度計画
				上期	下期			
新潟県	Δ21.4	23.8	15.8	10.3	18.8	Δ2.6	Δ25.9	34.3
製造(うち中小)	Δ57.1	57.8	69.4	3.1倍	Δ57.1	6.9 (Δ13.7)	Δ42.2 (29.0)	97.0 (22.4)
非製造	Δ7.1	14.4	Δ5.1	Δ8.4	Δ7.1	Δ18.8	Δ1.9	Δ20.6
全国	Δ16.1	24.2	14.9	30.0	4.2	Δ3.9	Δ9.2	3.6

5. 大企業および中小企業の業況判断D. Iの推移(日銀短観)

(1) 大企業



(2) 中小企業



(注) 大企業：常用雇用者数1,000人以上の企業が対象。
 中小企業：常用雇用者数が製造業50~299人、卸売20~99人、小売・サービス・リース20~49人、その他非製造業50~299人の企業が対象。

次に2枚目でございます。今年の景気の展望と課題に関する図表を寄せ集めて持って参ったものです。これをご説明申し上げますと、……毎日触っていても、なかなか解らない、気が付かない落穴があります。実は私も試されて、分かりませんでした。一万円札の裏は孔雀であります。五千円札の裏は富士山です。千円札の裏は鶴であります。そんなことでチョット頭の体操をやらせて戴きました。

本題に入らせていただきますが、お手元に2枚のペーパーをお配りしてあると思います。今年はヘビ年と昨年聞いた話なんです、ヘビ年というのは12年前にもあった訳であります、あまりいい年ではなかったようであります。12年前に何があったかといいますと、竹下総理、海府総理、宇野総理と一年で三人も総理大臣が変わったそうあります。

しかし、消費税導入で政治がおかしくなった年でもあり、景気もおかしくなった。ヘビというのは体温が低いそうでございますので、あまり盛り上りはないのだそうでございます。新年早々ガッカリするような話でございますが、それともう一つ過去10年間'91年に宮沢総理大臣でありました。それから細川さん、羽田さん、村山さん、橋本さん、小淵さん、森さん。クリントンさん一人の時代に総理大臣が7人変わっているんです。

1番の「我が国の輸出入の推移」の表ですが、

'99の中途くらいから輸出も輸入もどんどん増えています。これはアメリカの景気が大変良かったために、アメリカへの輸出ばかりでなくアジア全体に日本からの輸出が大変伸びたことを表しています。伸びている製品は自動車と情報関連(コンピューターとか携帯電話等)の品物がアジアからアメリカへどんどん回るか、直接アメリカへ行く訳です。アメリカの景気が好調だったために、日本の輸出は伸びた。それでかろうじて、日本の経済成長率は1.数%を保った訳です。

2番目は「実質輸出の内訳」ですが、……ゴチャゴチャしていますが、簡単に説明します。(1)の図は日本からの地域別の実質輸出。言いかえれば国別の輸出ですね。日本からどの国にどのくらいの割合で輸出されたかというのがこの図です。

そこの一番下のところに小さく「情報関連」は自動データ処理機械・通信機・IC等電子部品・科学光学機器とあります。この自動データ処理機械というのは、パソコンです。通信機というのは、携帯電話とFAXです。ICというのは、いわゆる半導体です。科学光学機器というのは、デジタルカメラとそのレンズです。そういうものがアメリカとアジアにどんどんいった訳です。そんなことで、日本の景気が支えられてきたという表であります。

次に3番目の表に移ります。この辺のところ、私の感じていることを申し上げたいと思っている

ところでは。

「世界経済の成長率見通し」GDP成長率とあります。2000年は世界全体が4.7%、アメリカが5.2%、ユーロが3.5%、アジアが6.7%です。今年の見通しはどうかといいますと、……世界は4.2%です。そこで日本は1.7%、アメリカは3.2%、ユーロが3.4%、アジアが6.6%です。

2の(1)図の下の方に小さいですが、アメリカとかEU・中国・ニーズ・アセアン、いろいろあります。下の方に'99年から'00まで、つまり昨年までの一年間が載っておりますが、ここ約一昨年の一年間が大変増えているのが、先ずアメリカであります。

アメリカが18%、ヨーロッパが18%、ニーズが約21%、アセアンで8.6%くらい増えております。只、この表について注意して戴きたいのは'99年から最後の方の実線が下がっておりますね。これは後半輸出が減っていることを表しています。これは後でまた説明しますけれど……

要は国別で見ますと、アメリカもニーズもヨーロッパもアセアンも全部、日本からの輸出は増えておりますが、それでは何が増えたかという(2)の図を見て下さい。これは日本からの財別実質輸出です。これも昨年の'99年度の中頃から大変増えており、後半落ちてきました。何が増えたかと言いますと、自動車と情報関連であります。

ここで問題がアメリカです。この2%の落込みが2%で止まるか、どうか今年最大の心配をするところです。恐らく、アメリカはこの正月早々に金利を下げます。そうすると株は上がります。しかし今はまた金利を下げる前の水準にまで株価は下がっております。だから3.2%で止まればアジアもユーロも大体昨年並みに動いてますから心配はないのですが、問題はアメリカが3.2%で止まらなかった場合……日本の今年の景気はかなり心配しなければならない材料があります。

アメリカの景気はかなりのところまできていますと皆様も感じておられると思います。だから、株価は落ちる。どこまで落ちるか。特にナスダックというのがあります。今大変落ちております。このナスダックの株というのは、……私、これはアメリカで聞いた話ですが、普通よりかなり上っているんだそうです。それも極端にです。だからアメリカの投資家は、もうそろそろ落ちてもしよんじゃないかと引き始めているんだということです。

これが落ちますと……私共も金融機関の端くれですが、今日本の金融機関がアメリカの株や債権を全部で約43兆円持っているんだそうです。この大半は生保・保険会社・信託銀行・大手銀行です。

ですからこのナスダックが大きく落込みますと、第2、第3の金融問題になる訳です。大手銀行の倒産はすでに峠を越えたと思いますが、大手はかなり金融機能停止の状況になる恐れがあります。そうしますと、日本の金融を支えるのは地銀と信用金庫かなとも考えております。

都市銀行は220兆円あります。地方銀行170兆円しんきん100兆円ちょっと。第2地方銀行は60兆円。信用組合20兆円。それを考えますと堅実で褒められているのは、地銀としんきんなんです。大手銀行の悪口を言ったようですが、とにかく株・債券を43兆600億持っています、株で持っているのが15兆円。債券で27兆円を持っています。これがどう反応するかによって、私共の今年度の第2・第3の金融不安に結び付くのではないかとビクビクしているのです。

終りになりますが、4番目の「世界全体に占めるIT市場の規模の割合」と他は、これからの日本の企業経営者が考えてゆかねばならない課題を3つばかり載せたものです。

この世界全体に占めるIT市場の規模の割合は、アメリカが35.5%、ヨーロッパが26.8%、日本がたったの12.7%です。この割合が増えなければ本当の意味の景気回復にはならないと考えています。5番目は日米の労働生産性の推移です。下の数字の年次がわかりにくいんですが、真中の'86年から'90年にかけてはアメリカに対して日本は圧倒的に労働生産性は高かったのです。それが90年代に入りますと、もうすっかり逆転してしまいました。96年には倍以上の差が付いてしまった。これを挽回するには、やはりIT関連への産業と労働力を傾注しなければ回復出来ないという表であります。日本の経済構造がある程度、金融とか、建設とか、或いは流通とかの生産性の低いところで、まだ一杯ある訳です。だから、このように労働生産性が低い訳です。それがもっと世界でどんどん稼げるITとか情報関連に労働が動けば労働生産性が高くなって、アメリカにも対等に勝てる、という表ではないかと思えます。

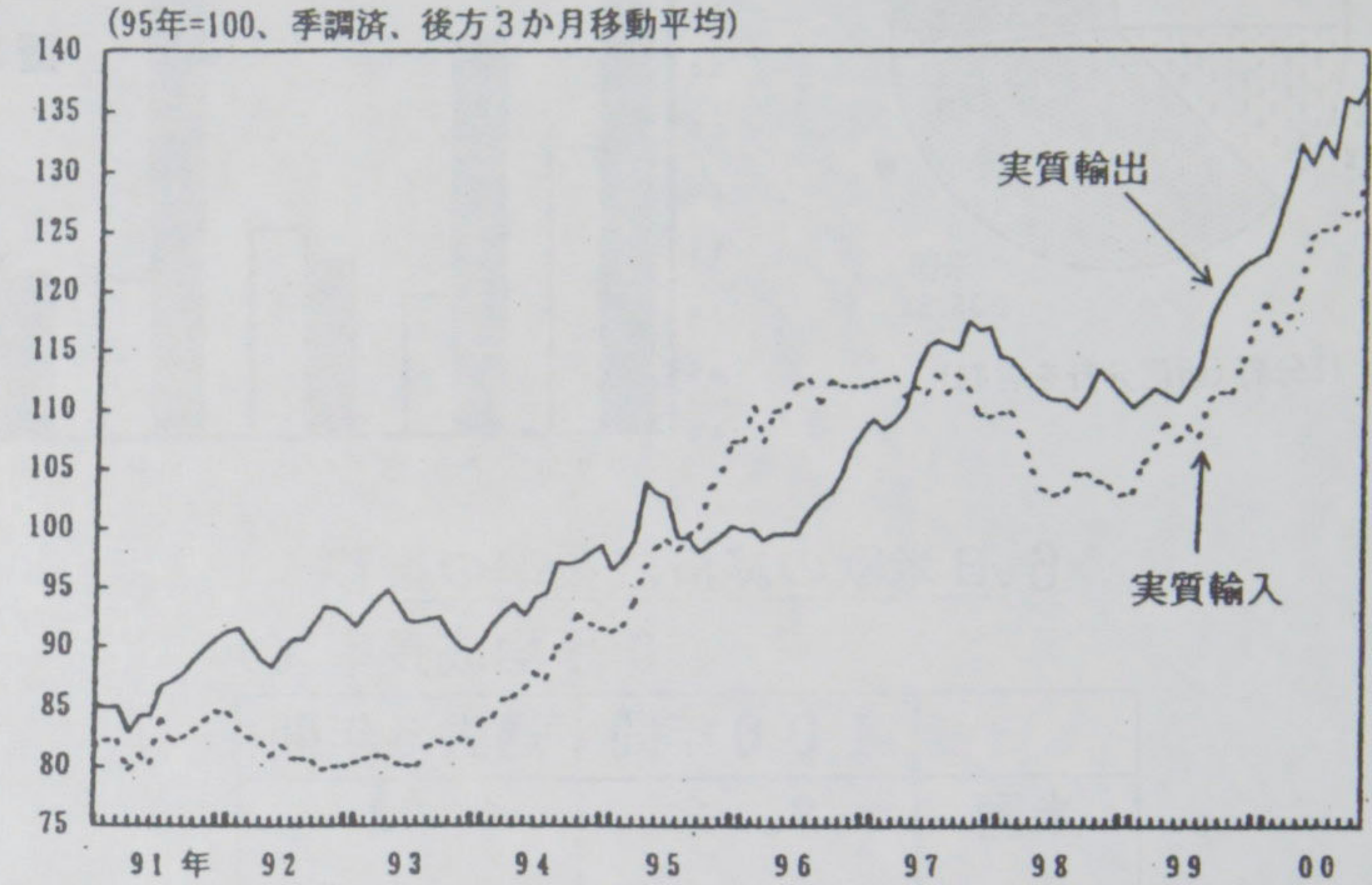
最後に6番の日米欧の経済成長率の推移であります。これは100年間でアメリカは3.3%、欧州は1.9%、日本は3.9%、これは平均であります。ところが過去5年間では、アメリカが4.4%。欧州が2.8%、日本が1.4%です。こういう点でも早く産業構造を改善して、建設とか、流通から早くIT関連へ労働力、或いは生産性を高める方向に移してゆけば……

アメリカでもイギリスでも10年くらい前は一時落ちこぼれの国などといわれた時があったのですから、日本だって挽回不可能なことではない。そ

う思って希望を持つのが良いと思います。但し、この2001年は先程申し上げたように、アメリカの景気や株価の動向など大変な不安材料があるとい

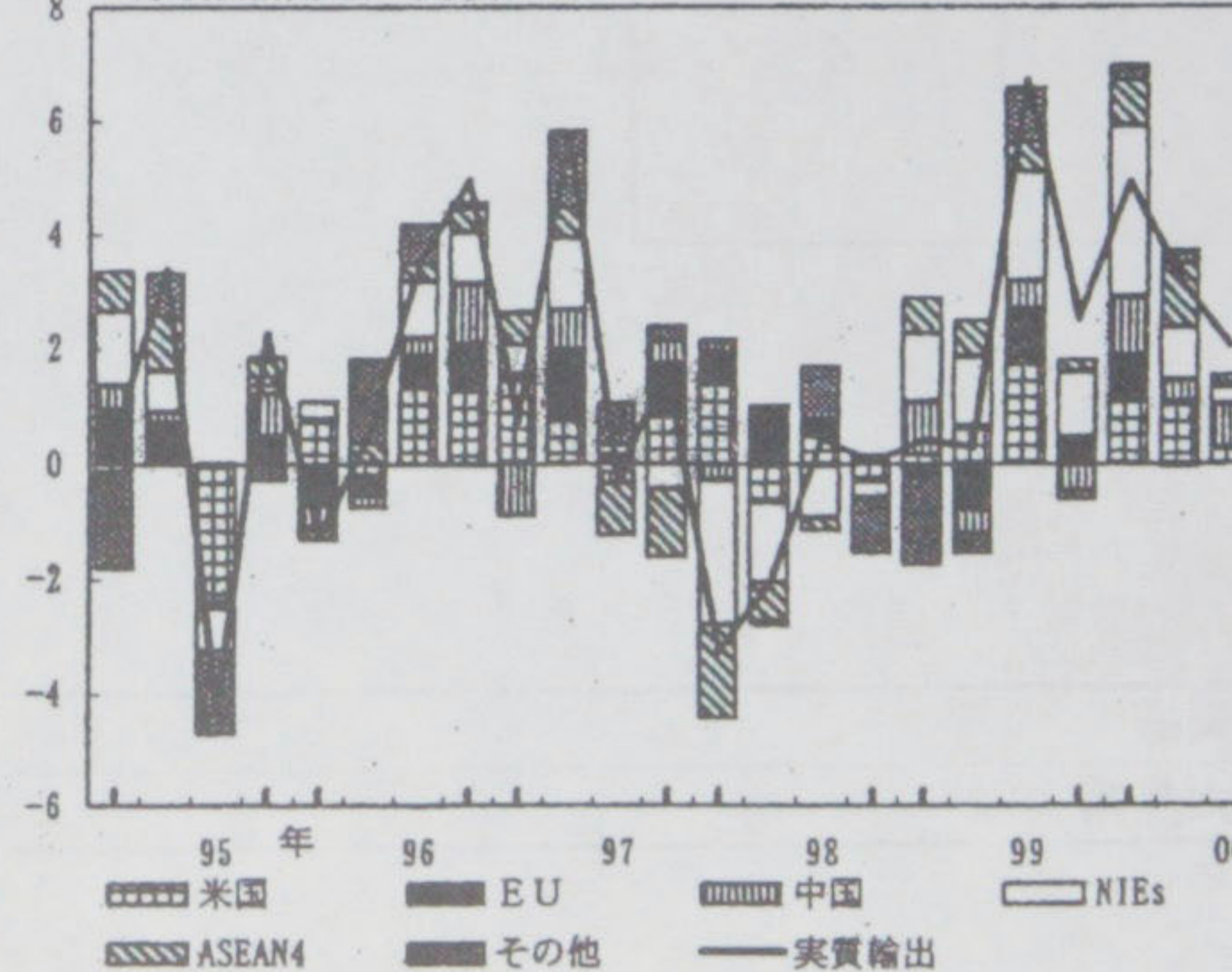
う話で私なりの結論と致しまして、終らせて戴きます。

1. 我が国の輸出入の推移

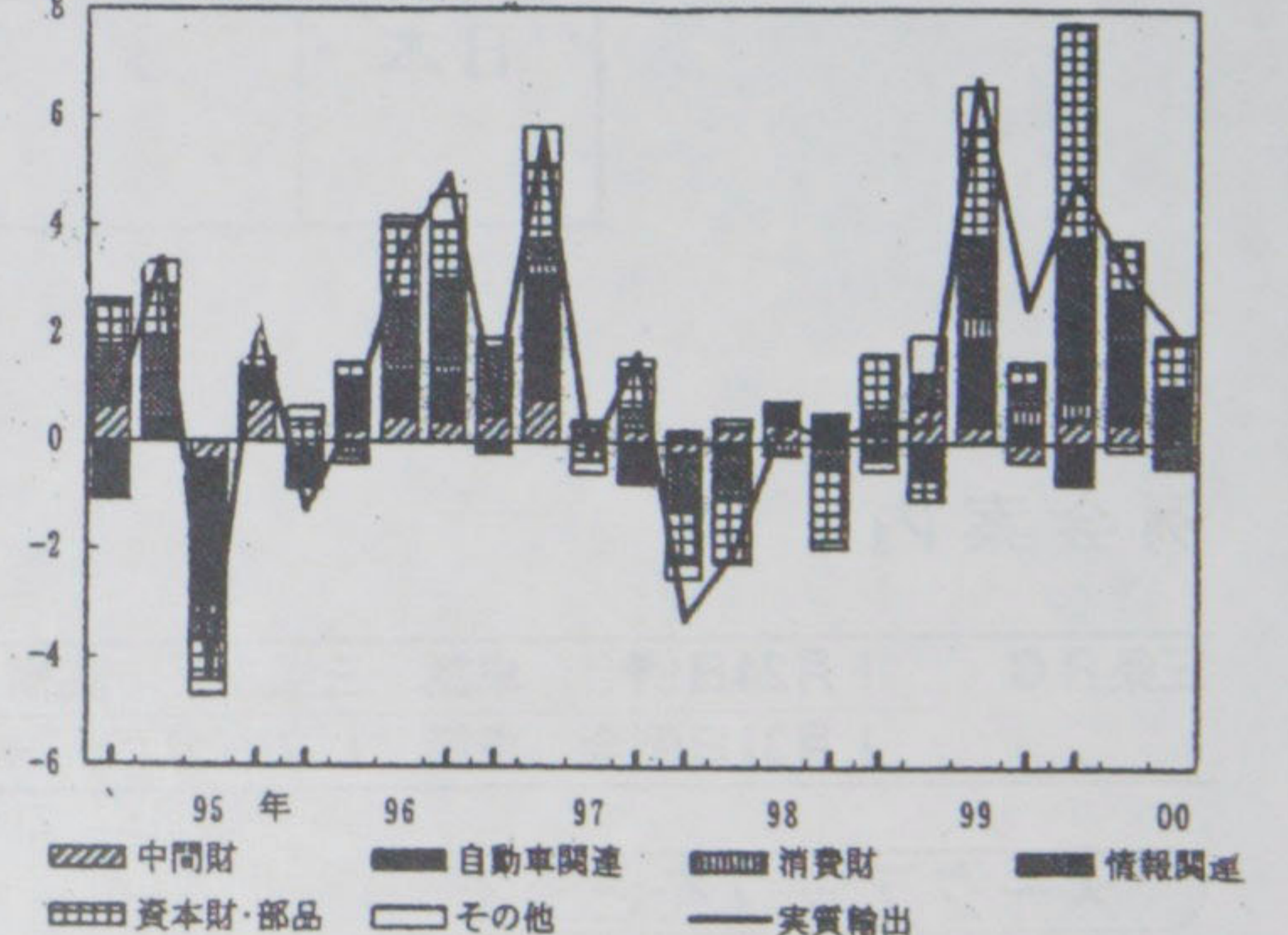


2. 実質輸出の内訳

(1) 日本からの地域別実質輸出 (季調済前期比、寄与度、%)



(2) 日本からの財別実質輸出 (季調済前期比、寄与度、%)



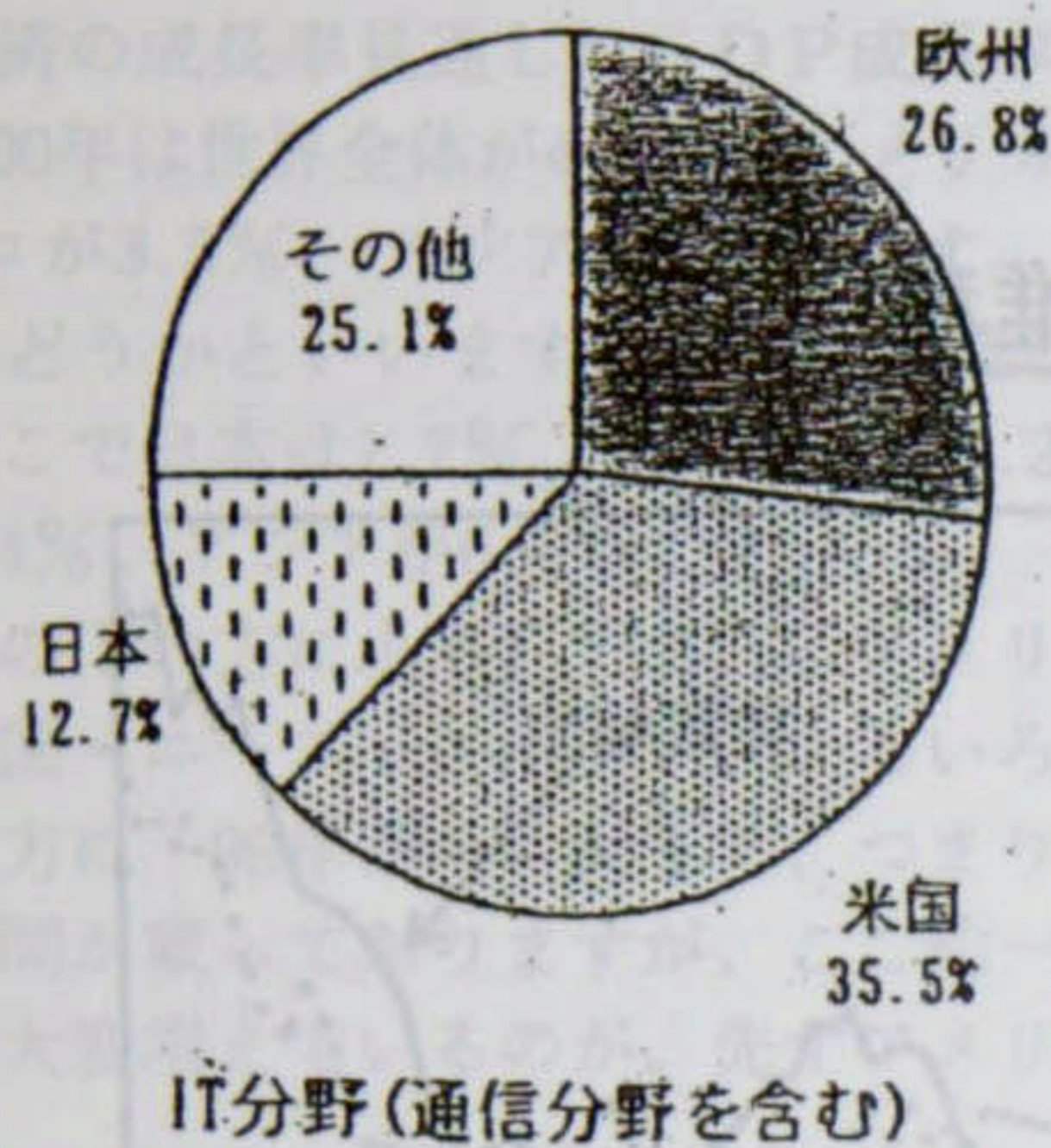
ASEAN4はタイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア。
「情報関連」は、自動データ処理機械、通信機、IC等電子部品、科学光学機器。

3. 世界経済の成長率見通し (GDP成長率：%)

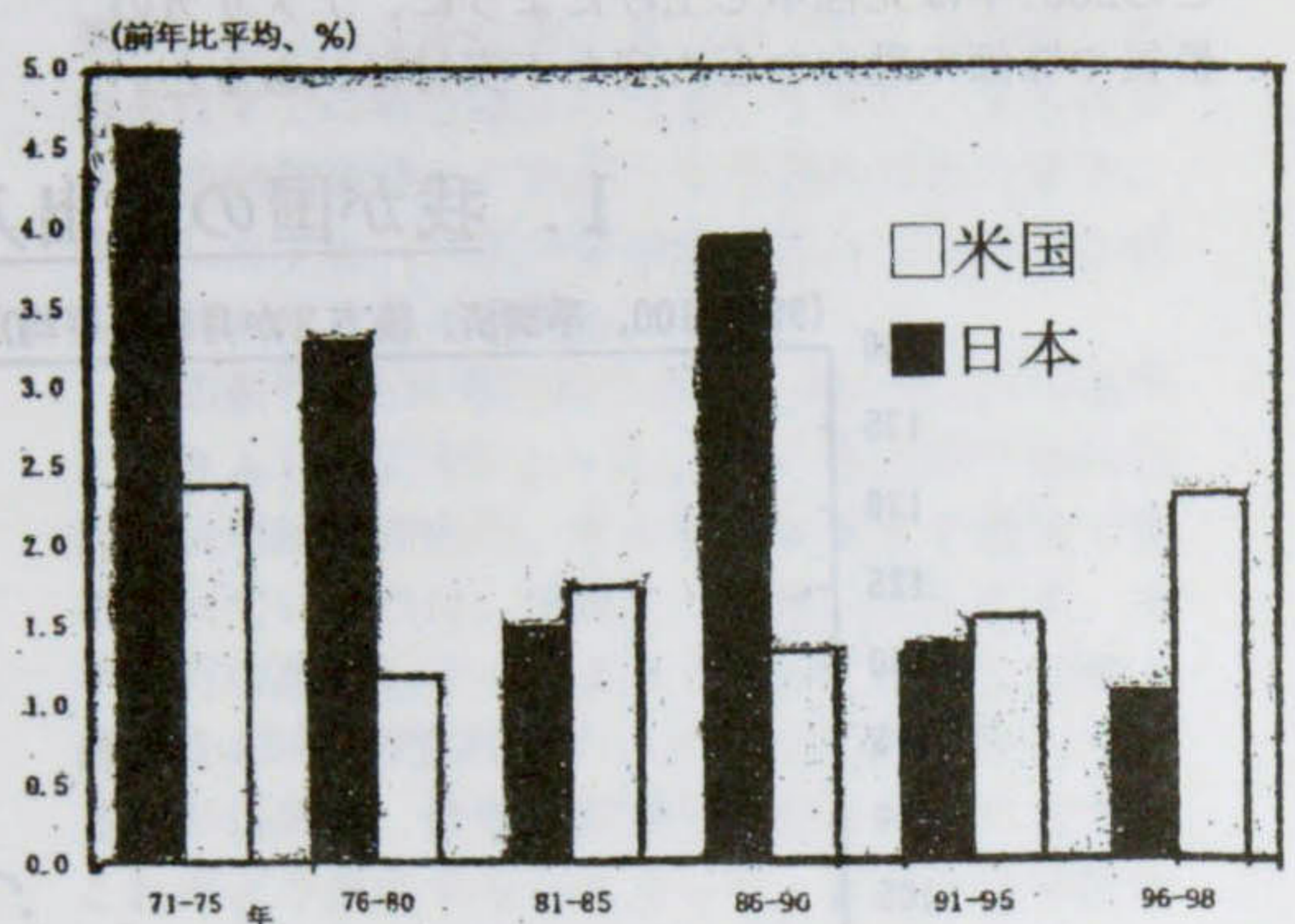
	世界計			
	米国	ユーロ圏	アジア	
2000年	4.7	3.5	6.7	
2001年	3.2	3.4	6.6	

出所：IMF

4. 世界全体に占めるIT市場規模の割合



5. 日米の労働生産性の推移



6. 日米欧の経済成長率の推移

(平均成長率%)

	100年間	過去5年間
米国	3.3	4.4
欧州	1.9	2.8
日本	3.9	1.4

例会案内

三条RC	1月24日例会	卓話	三条市長	高橋一夫様
	1月31日例会	卓話	パストガバナー	大島精次様

メイクアップをどうぞ

三条南RC	1月22日例会	通常例会
	1月29日例会	夜例会 於 二洲楼
三条北RC	1月23日例会→24日(水)に	社会奉仕事業「大島 彰 講演会」 於 県央地場産業センター
	1月30日例会	新年会
加茂RC	1月25日例会	会員卓話
	2月1日例会	会員卓話
燕RC	1月25日例会	会員卓話
	2月1日例会	会員卓話
見附RC	1月25日例会	会員卓話
	2月1日例会	会員卓話